

環境マネジメントマニュアル

(平成21年度版)



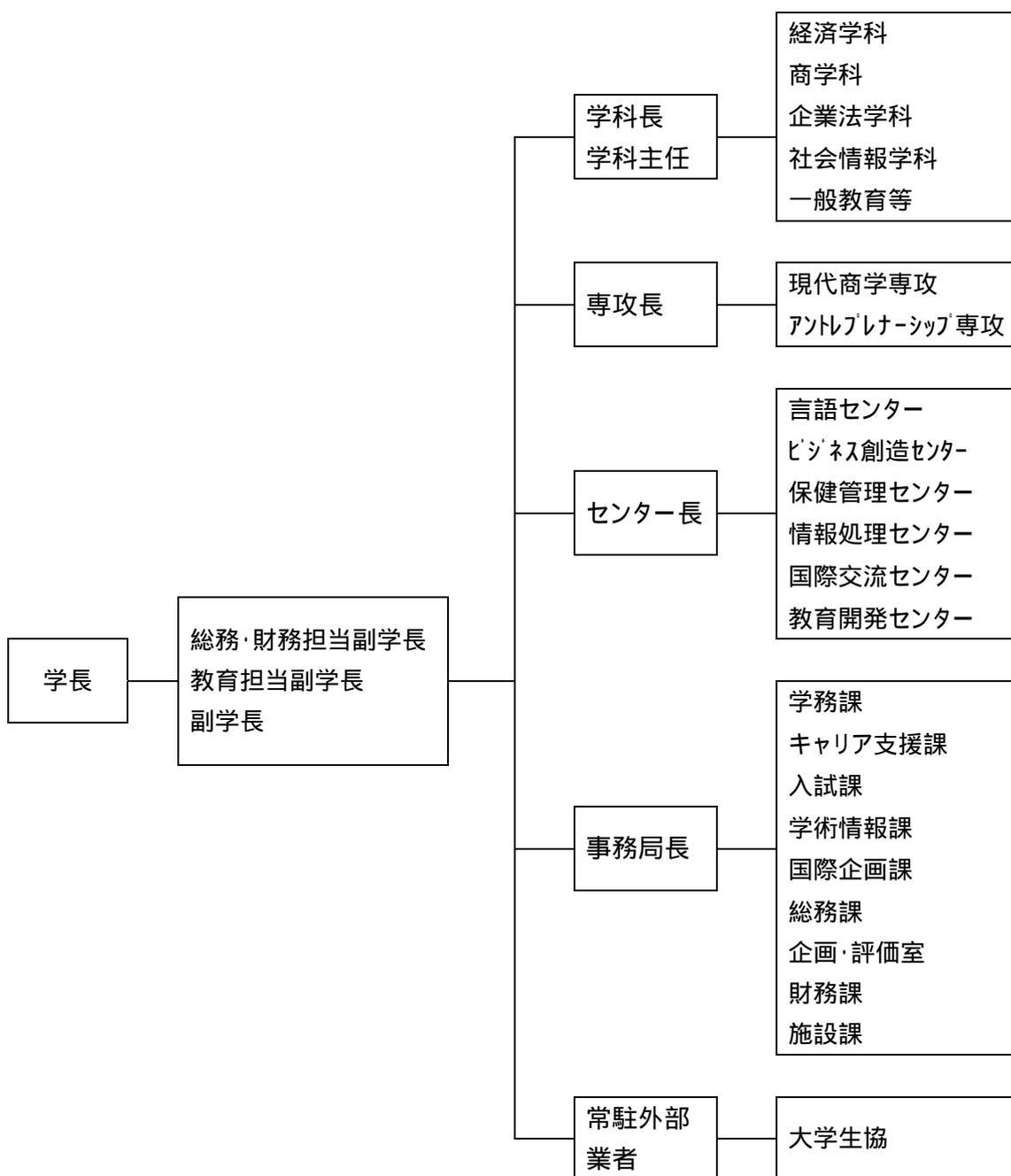
国立大学法人 小樽商科大学

目次

1 . 概要	2
2 . マニュアルの適用範囲	3
3 . 環境マネジメントシステムの構築	3
3 . 1 一般事項	3
3 . 2 環境に関する各種取り組みの計画	4
3 . 2 . 1 事業活動に伴う環境負荷の実情	4
3 . 2 . 2 環境目的・目標の設定	1 1
3 . 3 計画に基づいての実施及び運用	1 2
3 . 4 実施・運用した内容の点検	1 3
3 . 4 . 1 実施・運用項目の点検方法	1 3
3 . 4 . 2 各種記録類の管理	1 3
3 . 5 点検に基づく計画の見直し	1 3
結び	1 3
様式 1 環境目標計画書兼進捗管理表	
様式 2 環境目標評価記録	

1. 概要

- (1) 大学名 国立大学法人 小樽商科大学
- (2) 事業内容 教育・研究
- (3) 教職員数 195名(役員6名、教員121名、職員68名)(H21.4.1現在)
- (4) 学生数 2,447名(H21.4.1現在)
- (5) 敷地面積 137,985㎡(緑1団地)
- (6) 延べ床面積 35,926㎡(緑1団地)
- (7) 組織機構図



2. マニュアルの目的・適用範囲

(1) 本マニュアルは、国立大学法人小樽商科大学（以下「本学」という。）における環境問題に関して、どのようにして環境への負荷の低減に配慮した環境改善活動を実施し、継続的に改善するかを記述する文書とする。

(2) 適用範囲：国立大学法人小樽商科大学

所在地：北海道小樽市緑3丁目5番21号（緑1団地）

(3) 対象者：本学に勤務する全ての教職員及び常駐外部業者

3. 環境マネジメントシステムの構築

3.1 一般事項

本学の事業活動が環境に与える影響を調査して、「環境目的・目標」を設定し、下記に示すPDCAサイクルによる継続的改善を実施し、環境マネジメントシステムを確立する。

・環境マネジメントシステムのサイクル

(Plan) 環境に関する各種取り組みの計画

(Do) 計画に基づいての実施及び運用

(Check) 実施・運用した内容の点検

(Action) 点検に基づく計画の見直し

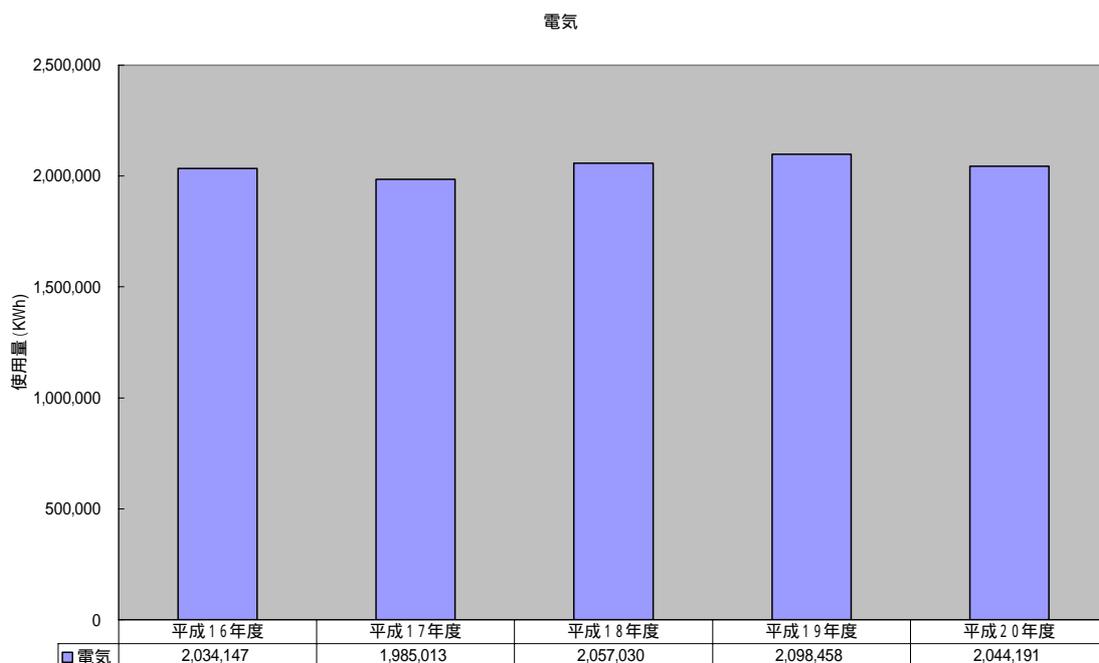


3.2 環境に関する各種取り組みの計画

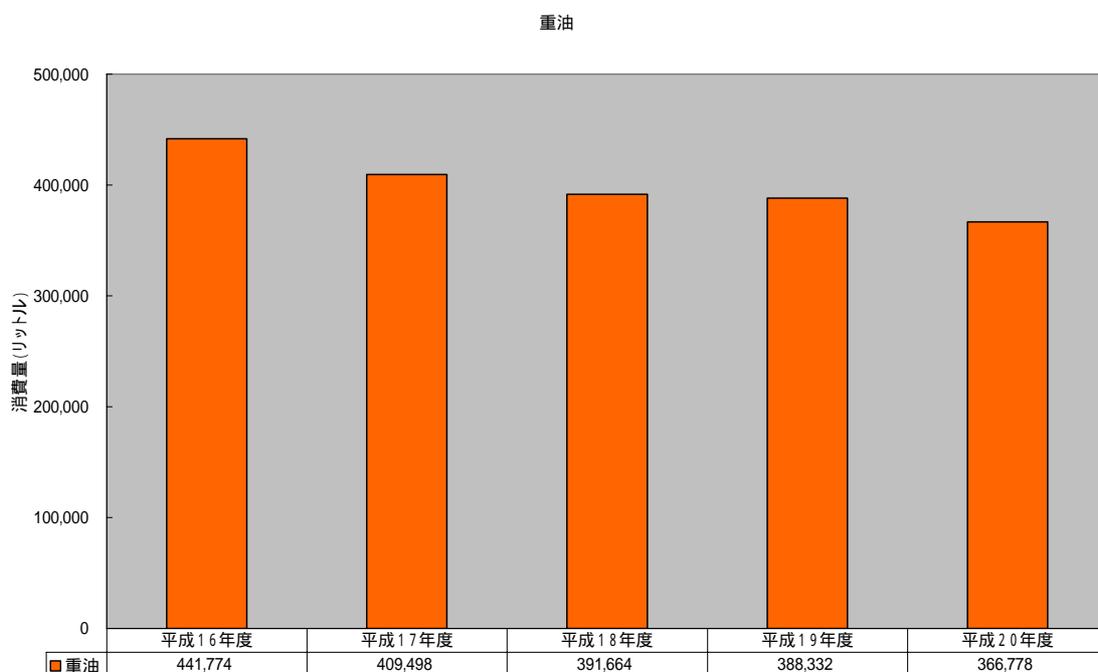
3.2.1 事業活動に伴う環境負荷の実情

A. エネルギー使用量の推移

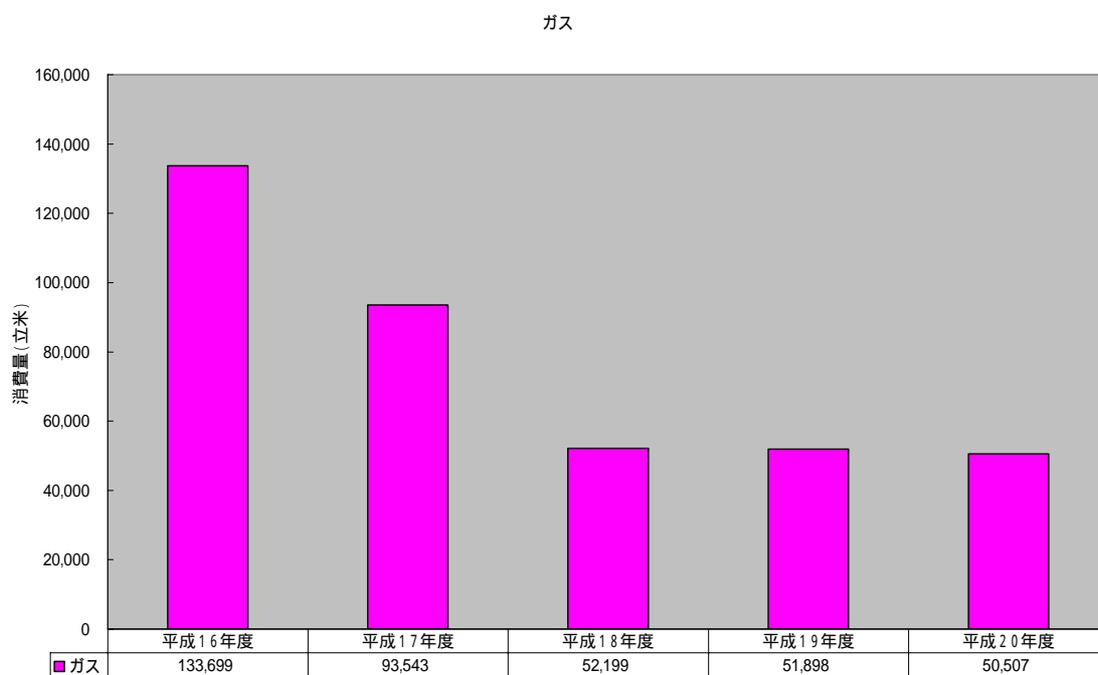
(1) 電力



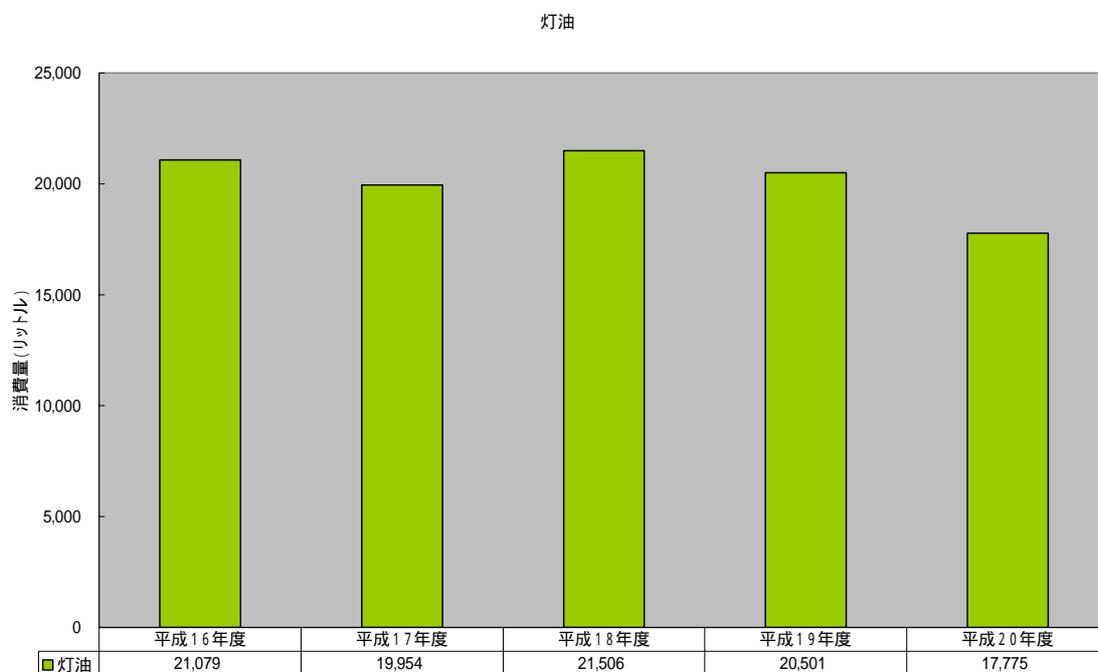
(2) 重油



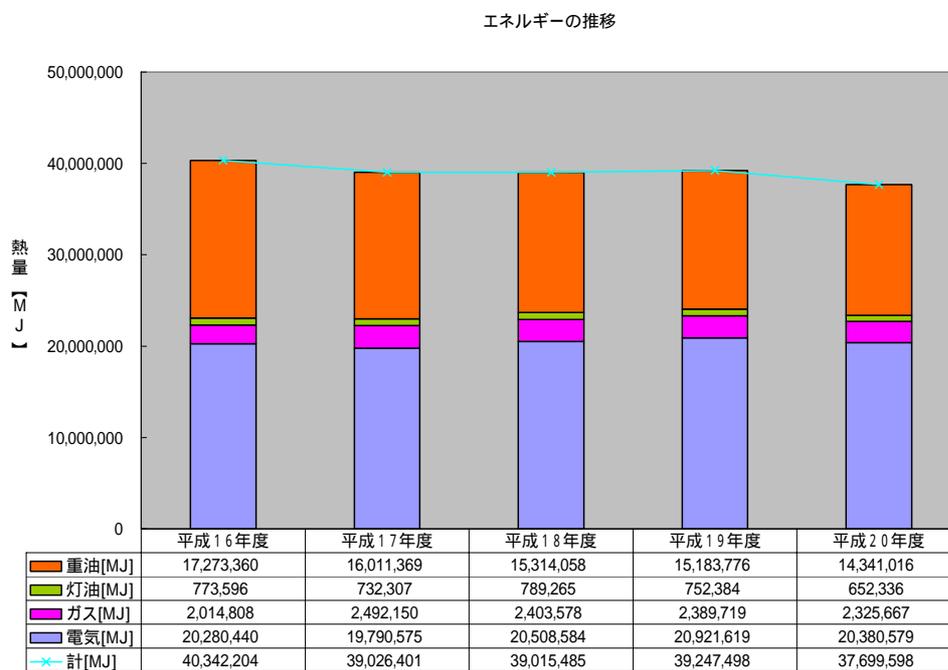
(3) ガス (平成 1 8 年度にガス種の変更)



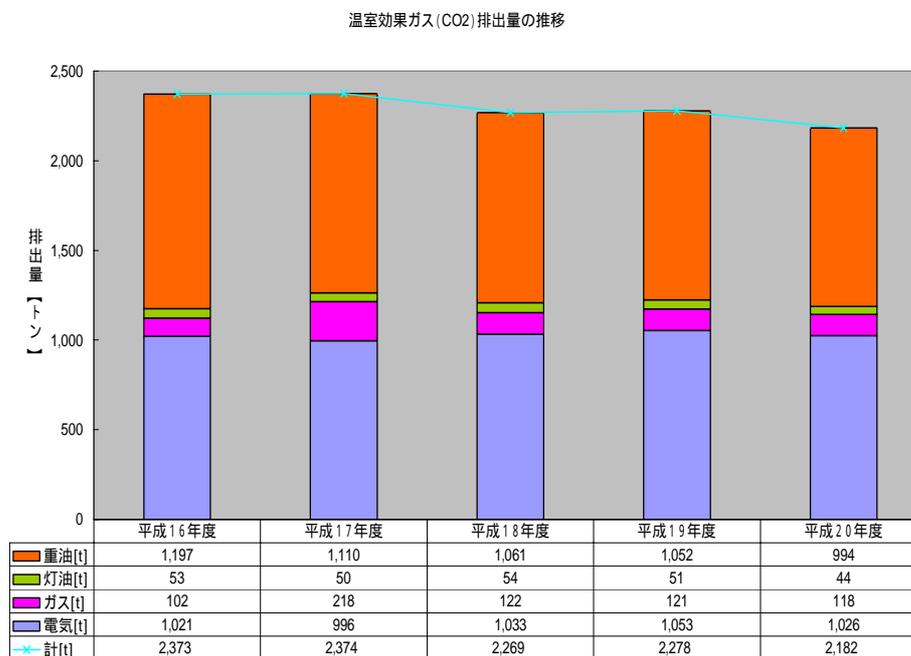
(4) 灯油



(5) エネルギー使用量総量

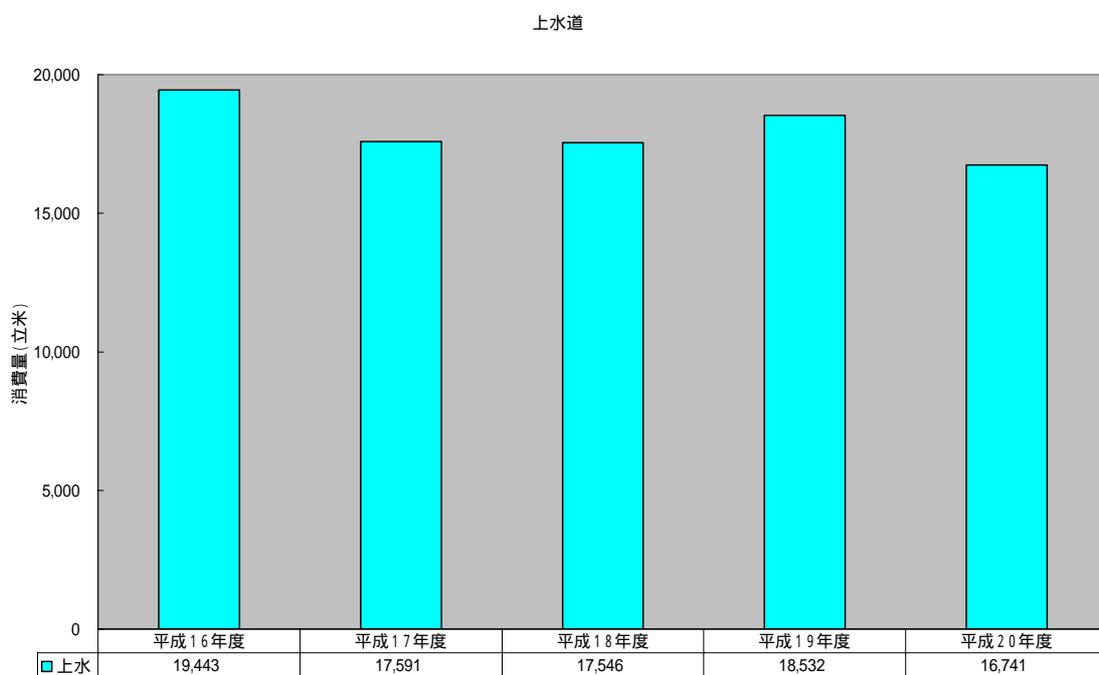


(6) 温室効果ガス排出量

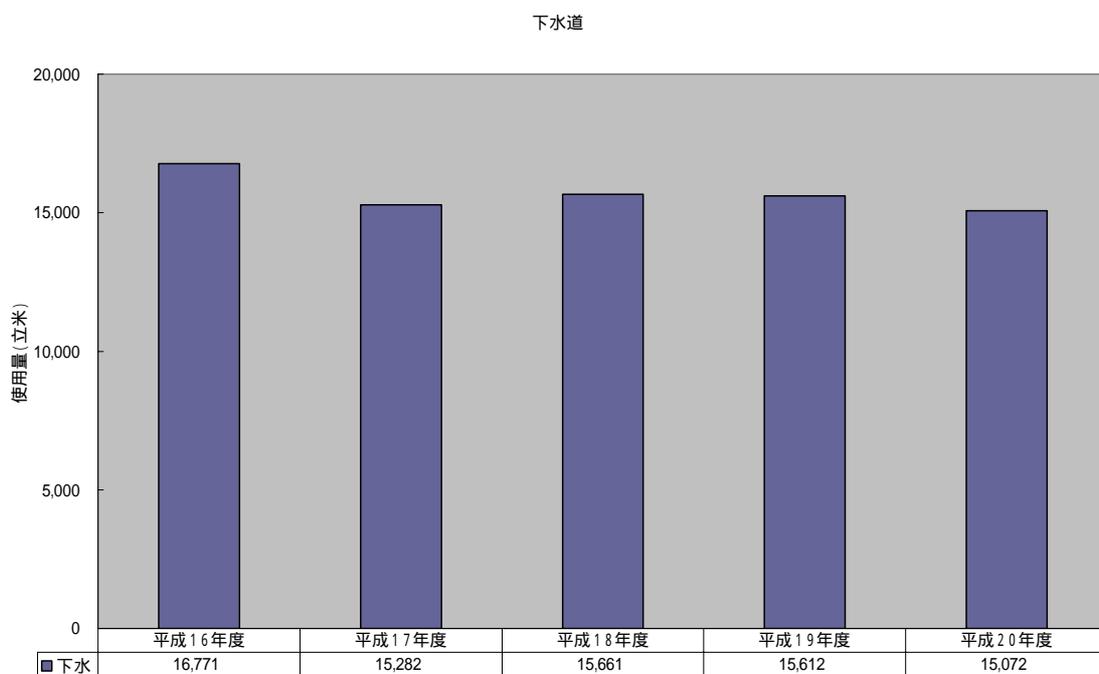


B. 水資源

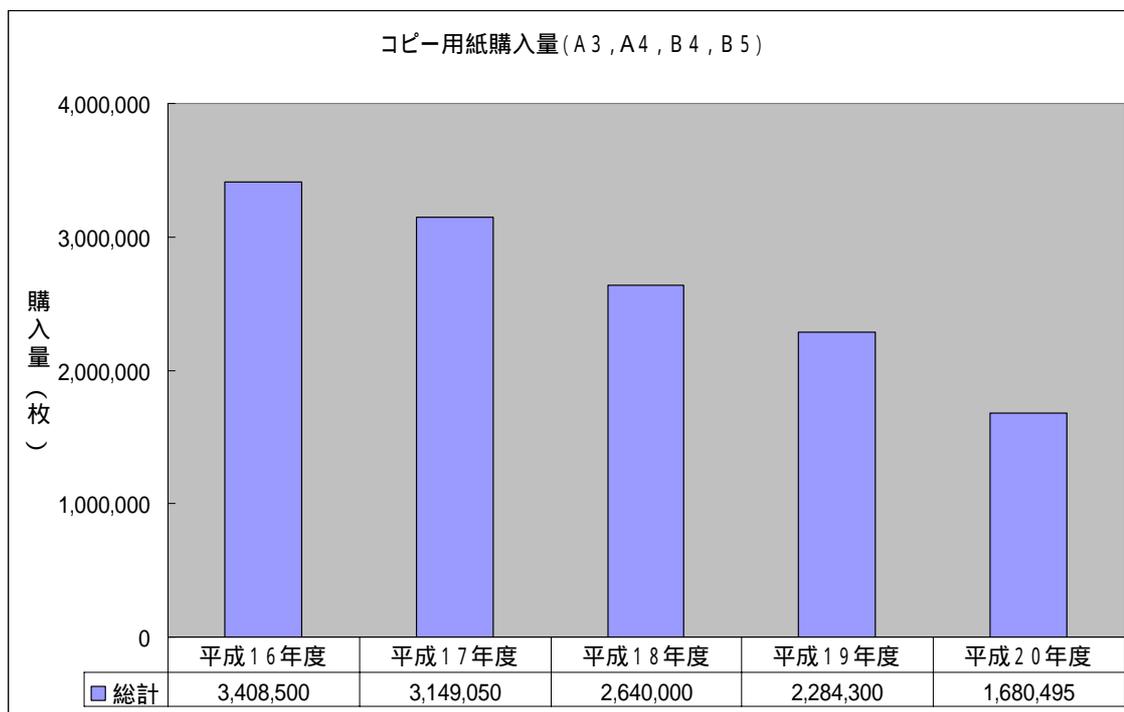
(1) 上水道使用量



(2) 下水道使用量



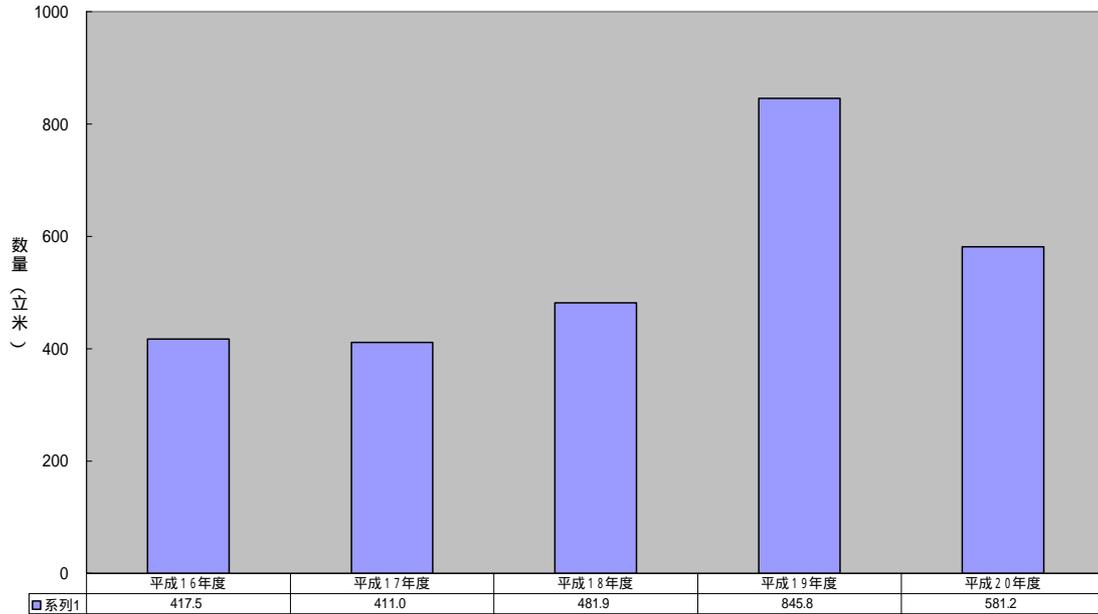
C . 紙（コピー用紙）使用量



D. 廃棄物

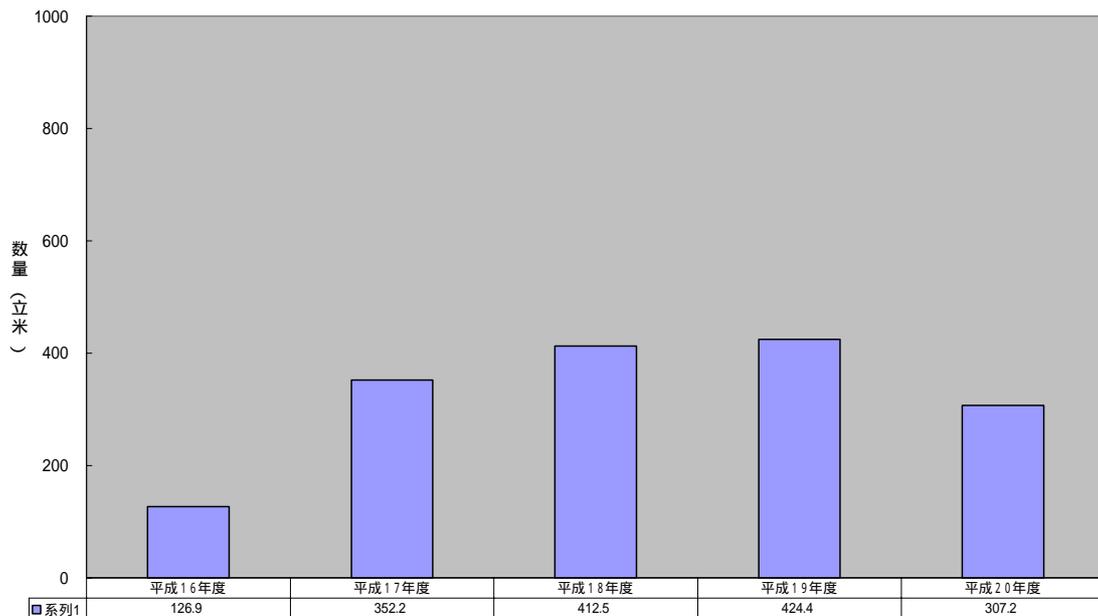
(1) 一般廃棄物

一般廃棄物処理量の推移



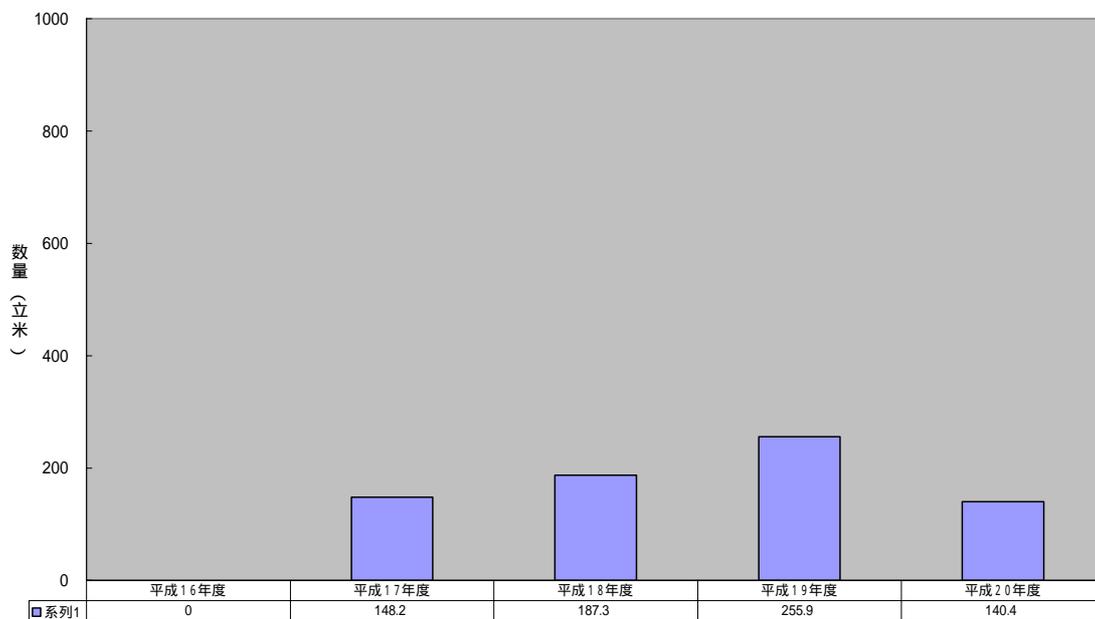
(2) 産業廃棄物

産業廃棄物処理量の推移



(3) 資源ゴミ

資源ゴミ処理量の推移



3.2.2 環境目的・目標の設定

1) 環境目的・目標を設定する際の配慮事項

- ・著しい環境影響要因
- ・法的要求事項の順守
- ・技術的、経済的制約を勘案した上での実現性

2) 環境目的・目標一覧表

項目	目的	目標
省エネルギー	エネルギー使用量を抑える。	エネルギー使用量を基準年(2008年)に比較し3年で3%削減する。 HP等を通して節電を呼びかける。
Co2削減	温暖化防止	Co2排出量を基準年(2008年)に比較し3年で3%削減する。
省資源	グリーン購入法を順守する。 紙の使用量を削減する。 節水に心がける。	グリーン購入調達100%を目指す。 コピー用紙使用量を前年度比1%削減する。 水使用量を前年度比1%削減する。
廃棄物量	廃棄物の分別の徹底をし、発生を抑制する。	廃棄物排出量を基準年(2008年)に比較し3年で3%削減する。
啓発活動	学生・教職員の環境意識を高める。	本マニュアルをホームページに掲載するとともに、環境問題に関するポスター・通知等を掲示・配布する。
環境関連法規制	環境法規制等の順守および改訂への対応	環境関連法を調査し、本学がその適用を受けるか否かを確認する。 新たな規則等の制定や改訂の情報を入手し、適応の可否を確認する。

3.3 計画に基づいての実施及び運用

1) 省エネルギー

・重油ボイラーから GHP 等への暖房方式の変更

現在ボイラー室から各建物へ供給している蒸気暖房（集中暖房）を変更し、建物毎に暖房できる GHP 等による個別暖房へと変更する。これにより、建物の利用形態に応じた棟別の温度管理の設定が可能となることから、エネルギー消費量が削減される。年次計画を立て、文部科学省へ概算要求する。

・照明器具の Hf 化、LED 化

従来型から高効率照明機器（Hf 蛍光灯）LED 照明へ更新することにより、使用電力の削減を図る。年次計画を立て、文部科学省へ概算要求する。

・人感センサーの設置

廊下やトイレの照明等は人感センサーを設置して、人がいないときには自動で Off になるようにする。

・ウォームビズの励行

冬期間はウォームビズを励行し、暖房設定温度を 20 に設定する。

2) Co2 削減

・重油ボイラーから GHP 等への暖房方式の変更

主熱源を重油からガスに変更することにより Co2 の削減を図る。

・照明器具の Hf 化、LED 化

使用電力の削減により、Co2 の削減を図る。

3) 省資源

・環境物品等の調達の推進を図るための方針を運用する。

・グリーン製品の購入を励行する。

・コピー用紙は両面印刷やミスプリントの裏面使用を心がける。

・トイレ改修の際、女子トイレには音姫を設置して節水に努める。

4) 廃棄物量

・廃棄物の分別・徹底により排出量を削減する。

5) 啓発活動

・本マニュアルをホームページに掲載する。

・環境に関するポスター・通知等を掲示・配布する。

6) 環境関連法規制

・本学が適用を受ける環境関連法を調査し、法を順守しているか確認する。

・年に1回、総務省と小樽市のHPへアクセスし、環境関連法の制定や改訂、市条例の改訂等についての情報を入手し、本学がその適用を受けるか否かを確認する。

3.4 実施・運用した内容の点検

3.4.1 実施・運用項目の点検方法

1) 省エネルギー、2) Co2 削減

- ・重油、灯油、電力、ガスの使用量を毎月確認し、その結果を記録するとともに、学内 HP に掲載する。
- ・省エネ対策工事の実施状況を確認し、それに基づくエネルギー、および Co2 の削減料を推定し、その結果を記録する。

3) 省資源

- ・年に1回グリーン製品の購入率を確認する。
- ・年に1回コピー用紙の購入量を確認し、その結果を記録する。

4) 廃棄物量

- ・年に1回廃棄物の排出量を集計し、その結果を記録する。

5) 啓発活動

- ・環境に関するポスター・通知等が学内に掲示・配布されているか確認する。

6) 環境関連法規制

- ・定期的に年に1回実施し、その結果を記録する。

3.4.2 各種記録類の管理

- 1) 点検結果については文書にして保管する。

3.5 点検に基づく評価及び計画の見直しの検討

点検結果に基づき毎年7月に評価を行い、下記の点について文書にして保管する。

- ・目標の達成度の確認
- ・目標が達成できなかった場合の原因の追及および改善策の策定
- ・是正及び予防措置の状況
- ・当初目的の妥当性
- ・変化している周囲の状況（法規制等の変更状況も含む）
- ・目的及び目標およびその他の環境マネジメントシステムの変更の必要性の評価

結び（編集後記）

小樽商科大学では、この「環境マネジメントマニュアル」に基づき、地球環境や地域環境の保全・改善のため、環境の調和と環境への負荷の低減に積極的に取り組んでいきます。

今後とも地域に開かれた大学として、地域に根ざした活動をとおして環境改善活動を推し進めていきます。

編集：小樽商科大学施設課

メール：sisetuka@office.otaru-uc.ac.jp

環境目標計画書兼進捗管理表（１）

目標項目		基準数値 (2008年度)		進 捗 管 理		
				2009年度	2010年度	2011年度
省エネルギー エネルギー使用総量を基準年 (2008年)に比較し3年で3%削減する。	消費電力 (kWh)	2,044,191	目標値	2,023,749	2,003,307	1,982,865
			実績値			
	重油 (リットル)	366,788	目標値	363,120	359,452	355,784
			実績値			
	ガス (m ³)	50,507	目標値	50,002	49,497	48,992
			実績値			
	灯油 (リットル)	17,775	目標値	17,597	17,420	17,242
		実績値				
エネルギー 使用総量 (MJ)		37,699,598	目標値	37,322,602	36,945,606	36,568,610
			実績値			
			達成度			
Co2削減	(トン)	2,182	目標値	2,160	2,138	2,117
Co2排出量を基準年(2008年)に 比較し3年で3%削減する。			実績値			
			達成度			
廃棄物量	一般廃棄物量	581.2	目標値	575.4	567.0	563.8
廃棄物排出量を基準年(2008年) に比較し3年で3%削減する。	(m ³)		実績値			
			達成度			

達成度・・・ : 目標を大幅に上回って達成 : ほぼ目標通り達成 : 実施したが目標を下回った × : 実施しなかった。

環境目標計画書兼進捗管理表（2）

目標項目		基準数値 (2008年度)		進 捗 管 理		
				2010年度	2011年度	2012年度
省資源 水使用量を前年度比1%削減する。	水使用量 (m ³)	16,741	目標値	16,574	16,406	15,977
			実績値			
			達成度			
コピー用紙使用量を前年度比1%削減する。	コピー用紙 (枚)	1,680,495	目標値	1,663,690	1,630,416	1,613,779
			実績値			
			達成度			
グリーン購入調達100%を目指す。	グリーン購入調 達率(%)	100	目標値	100	100	100
			実績値			
			達成度			
啓発活動	本マニュアルをホームページに掲載するとともに、環境問題に関するポスター・通知等を掲示・配布する。		達成度			
環境関連法規制	環境関連法を調査し、本学がその適用を受けるか否かを確認する。新たな規則等の制定や改訂の情報を入手し、適応の可否を確認する。		達成度			

達成度・・・ : 目標を大幅に上回って達成 : ほぼ目標通り達成 : 実施したが目標を下回った × : 実施しなかった。

環境目標評価記録

平成 年 月 日	場所：
出席者：	
全体の目標に対する評価記録	
目標に達しなかった項目及び原因、改善策	
目標の妥当性	